

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公表番号】特表 2002-536932(P2002-536932A)
 【公表日】平成 14 年 10 月 29 日 (2002.10.29)
 【出願番号】特願 2000-597978(P2000-597978)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 25/00 (2006.01)
B 2 9 C 39/02 (2006.01)
B 2 9 C 39/26 (2006.01)
H 0 4 R 25/02 (2006.01)
 B 2 9 K 101/10 (2006.01)
 B 2 9 K 105/24 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 25/00 G
 B 2 9 C 39/02
 B 2 9 C 39/26
 H 0 4 R 25/02 C
 B 2 9 K 101:10
 B 2 9 K 105:24

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 12 日 (2007.1.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柔順なエラストマーから成形されたハウジングを含んでなる補聴器であって、当該ハウジングが外側周囲をもち、ハウジングが少なくとも 1 種類の内部に形成された構成部品担持領域を区画し、ハウジングが外側周囲からハウジングの内部領域を置き換える一体として形成された周囲の境界層を含み、境界層の深度が少なくとも一部はエラストマーが含浸した母材により決定される補聴器。

【請求項 2】

母材が開放セルの発泡体材料を含んでなる、請求項 1 記載の補聴器。

【請求項 3】

ハウジング中に封入された少なくとも 1 基の出カトランスジューサーを含み、当該トランスジューサーがエラストマー含浸母材の少なくとも一部分により周囲から内側に隔離されている請求項 1 記載の補聴器。

【請求項 4】

第 1 の向きをもつ入カトランスジューサーを担持し、出カトランスジューサーがフィードバックを最少にするように選択された方向をもつ、請求項 3 記載の補聴器。

【請求項 5】

出カトランスジューサーがハウジングにより、選択された隙間を空けて離れた位置でのみ支持され、そして出カトランスジューサーと前以て形成された領域との中間に隙間を含む請求項 4 記載の補聴器。

【請求項 6】

トランスジューサーが相互に 90 度の次元だけ位相が異なるように配向されている、請求項 4 記載の補聴器。

【請求項 7】

選択された構成部品がハウジングを変形することによりそこに挿入し、そこから取り出すことができる、請求項 1 記載の補聴器。

【請求項 8】

母材が多数一セル母材、布地及び多孔質の固体を含む群から選択される、請求項 1 記載の補聴器。